年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　社会　科目　公共

教　科：　社会　科　目：　公共　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組

使用教科書：（　公共　）

使用教材：（　教科書、プリント、ファイル、スマートスクール端末　）

【知識及び技能】　考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・人生における青年期の意義や特徴を理解させる。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解させる。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考えさせる。	第１章　社会を作る私たち 第２章　人間としてよく生きる 第３章　他者とともに生きる 第４章　民主社会の倫理	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによ	○	○	○	5
	・経済的な効率性と公平性の対立関係について考えさせる。 ・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考えさせる。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考えさせる。 ・近年の金融制度改革の動向や金融政策の変化などを理解させる。	第１章　現代の経済社会 １　経済主体と経済活動の意義 ２　経済社会の変容 ３　市場のしくみ ４　市場の失敗 ５　現代の企業 ６　国民所得　…ほか	・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・日本経済はどのように成長してきたかについて、歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考えさせる。 ・日本経済は、どのような課題に直面しているのかについて、人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考えさせる。	第２章 １　戦後日本経済の成長と課題 ２　転機に立つ日本経済 ３　経済社会の変化と中小企業 ４　農業と食料問題 ５　消費者問題 ６　公害の防止と環境保全 …ほか	・2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察している。 ・人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。 ・経済成長による経済的な豊かさと幸福について、数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとしている。	○	○	○	7
	・労働契約の特性や労働者の権利について理解させ、日本的雇用の崩壊や雇用の流動性が強まる中での労働のあり方を考えさせる。 ・今後の日本の社会保障制度について、受給と負担のバランスを理解させ、今後の社会保障の在り方を考えさせる。	第２章 ７　労働問題と労働者の権利 ８　こんにちの労働問題 ９　社会保障の役割 １０　社会保障制度の課題 …ほか	・社会保障の考え方を知り、制度の変遷を理解している。 ・望ましい働き方の実現のための方策について、協働的な考察をおこない、適切に表現している。 ・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	・大日本帝国憲法と日本国憲法の比較を通じて，日本国憲法の特徴を理解させる。 ・日本国憲法の基本原理が国民主権，基本的人権の尊重，平和主義であることを理解させる。 ・憲法で保障されているさまざまな自由権について，具体的な判例を通じて理解させる。 ・現代においても，さまざまな差別が残っていることを具体的な事例を通じて理解させる。 ・社会権の保障と現実の政策をめぐる課題について着	第２部　よりよい社会の形成に参加する私たち 第１章　日本国憲法の基本的性格 １　日本国憲法の成立 ２　日本国憲法の基本的性格 ３　自由に生きる権利 Trial　自由にともなう責任とは ４　平等に生きる権利　…ほか	・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。 ・各種の基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	○		○	5
	・p.71の表３を活用して，自衛権に関する政府解釈が変化していることに着目させる。 ・世界情勢の変化と安全保障体制の変化の関連について理解させる。	第２部　よりよい社会の形成に参加する私たち 第１章　日本国憲法の基本的性格 ５　社会権と参政権・請求権 ６　新しい人権 ７　人権の広がりと公共の福祉 ８　平和主義と我が国の安全 ９　こんにちの防衛問題　…ほか	・防衛関係費と社会情勢との関係について，p.70「Check」を利用して，多面的に考察している。 ・自衛権について，p.71「Try」を利用して，多面的に考察し，適切に表現している。 ・沖縄の基地問題について，p.74～75「時事NOTE」を利用して，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解させる。 ・政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会	第２部　よりよい社会の形成に参加する私たち 第２章　日本の政治機構と政治参加 １　政治機構と国会 ２　行政権と行政機能の拡大 ３　公正な裁判の保障	・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって	○	○	○	7
	・p.91の戦後の政党の系譜図を活用して，戦後日本の政党政治の展開を理解させる。 ・p.92の表１を活用して，各選挙制度の特徴に着目させる。	第２章 ５　政党政治 ６　選挙制度 ７　世論と政治参加 Trial　多数決で決めることの長所と短所 Challenge　③政治への参加 …ほか	・政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 ・p.91「時事NOTE」を利用して，日本の政党政治の現状について理解している。 ・p.90のCheckを通じて，日本の各政党の特徴を読み取ることができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	・消費者問題が続くなか，消費者行政が保護から自立へと変化していることを理解させる。 ・民法改正による成年年齢の引き下げでさまざまな権利と責任が生まれることを理解させる。 ・労働契約の特性，労働法による労働者の権利保護の状況について理解させる。 ・日本的雇用形態の崩壊や雇用の流動性が強まるなかで，労働のあり方が問い直されていることを理解させる	現代社会ナビ ⑬こんなときどうする？－消費者問題－ ⑮こんなときどうする？－労働問題－ Active５～７	・職場における不当な差別的扱いがあってはならず，そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 ・具体的な労働問題について，p.152の現代社会ナビ「こんなときどうする？労働問題」を活用し，理解している。 ・なぜ労働法規によって労働者の権利保護が図られているのか協働的に考察し，それらを適切に表現している。	○	○	○	5
	・国際社会には世界政府のような存在がないため，国際社会においては各国の力関係がものをいうパワーポリティクスに陥りやすいことを理解させる。 ・国際法が戦争の違法化だけではなく，人権擁護環境保護など豊富な内容になっていることを理解させる。	３　国際社会と人類の課題 第１章　国際政治の動向と課題 時事NOTE　⑧格差から貧困へ 第２章　国際経済の動向と課題 時事NOTE　⑮国際経済のなかの中国 …ほか	・主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 ・国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず，そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解している。 ・NGOの取り組みについて主体的に追究して，環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述させる。 ・この科目のまとめとして位置付け，社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，第1部で身に付けた選	テーマ別学習 違法ダウンロード 持続可能な開発目標（SDGｓ） 沖縄の基地問題 金融技術の革新 …ほか	・地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	・消費者問題が続くなか，消費者行政が保護から自立へと変化していることを理解させる。 ・裁判に市民が参加する制度として導入された裁判員制度について理解させる。 ・国際連合が世界の平和と安全の維持のために多くの専門機関や関連機関と連携していることを理解させる。 ・しばしば大国間の利害対立によって意思決定が阻	テーマ別学習 現代社会ナビ ⑫契約を学ぶ　－中古車売買契約－ Challenge ①判決を考えてみよう ⑤模擬国連をやってみよう …ほか	・消費者の自立と自己責任について関心を深め，消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。 ・違憲審査権の行使について主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に，司法のあり方について検討している。 ・国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会，経済や環境問題に関する行動について主体的に追究して，国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 90